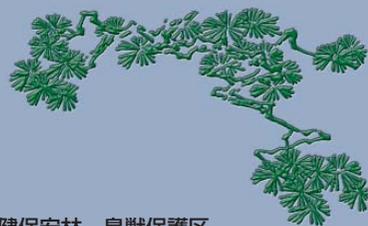


加賀海岸

- 所在地／加賀市
- 規模／幅 1km、長さ 4km、面積 358ha、樹齢 20～150年
- 指定／越前加賀海岸国定公園第2種特別地域、防風・飛砂防備・保健保安林、鳥獣保護区
- 問合せ／加賀市農林水産課 電話 0761-72-7910（直通）



立地環境

加賀市北西の塩屋から片野にかけての加賀砂丘。背後には長さ 4km にわたってクロマツの砂防林が続きます。

松原の
今昔物語

加賀海岸の松林は藩政時代から

松林の造成は、藩政時代からくり返し行われてきました。海岸中央部の大聖寺上木町には、「江戸中期、耕地参百八拾反、百五拾戸の地区が飛砂襲来で式百反の耕地と主な集落が埋まり、耕地百八拾反、七拾戸に減り、多数が出村地区に避難した」という被害記録が残っています。この海岸一帯の住民は、それほど飛砂の被害に悩まされていたのです。

飛砂、潮風から住民の生活と農作物を守るため、明治 44 年に国が砂防計画をたて、本格的に砂防事業に着手し、クロマツの苗木が 770 万本植えられ、現在の松林ができました。

当時植栽されたクロマツは樹齢 100 年以上となって、立派にその機能を果たしています。

海岸線の純白の砂丘と松の緑が調和し、昭和 49 年には自然休養林の指定を受け、サイクリングロード、遊歩道もできています。



COLUMN

加賀海岸は長さ 4km の松林が続き、728ha が加賀海岸自然休養林となっています。自然休養林は、藩政時代から人の手によって、約 2,000 万本のクロマツが植えられたものです。また、加賀海岸休養林の中には、サイクリングロードや遊歩道があり、森林浴やキノコ狩りが楽しめます。

ACCESS

●電車やバスの場合

JR 北陸本線大聖寺駅下車、タクシーで 10 分

●車の場合

北陸自動車道「加賀」I.C. から車で 10 分

